

事後評価シート

コード 12-2-3	事務事業名 各種大会選手派遣事業	所管部課 生涯学習部スポーツ振興課
---------------	---------------------	----------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 東京都体育協会等が主催する各大会に西東京市体育協会を通じて団体及び個人の競技参加することで、各競技力の向上等により市のスポーツ振興を推進する。	事業の区分 <input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 行革項目 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事務事業
	実施内容、実施方法 都民体育大会、市町村体育大会、都民生涯スポーツ大会・都民スポレク大会に対し、西東京市体育協会に加盟する各競技連盟及び一般市民より選手の選出及び選手派遣を委託している。	根拠法令等 スポーツ振興法
	事業開始時期 合併前から	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ( )

評価指標の設定	活動指標名 年間開催数	活動指標の考え方(定義) 選手派遣を実施している大会の開催回数
	成果指標名 1次 参加競技人数	成果指標の考え方(定義) 1次 選手派遣を実施した大会に参加した人数
	1次	1次
	2次	2次

		単位	15年度	16年度	17年度	18年度
事務事業データ	事業費(A)	千円	1,252	1,179	1,222	1,063
	国庫支出金					
	都支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源		1,252	1,179	1,222	1,063
	所要人員(B)	人	0.2	0.2	0.2	0.2
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	1,655	1,666	1,637	1,637
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	2,907	2,845	2,859	2,700
	単位当たりコスト (E)=(D)/ (年間開催数)	千円	969	948	953	#DIV/0!
歳入	千円					
活動指標	目標値	回			3	3
	実績値	回	3	3	3	
活動指標	目標値					
	実績値					
1次成果指標	目標値	人				
	実績値	人	502	498	593	
1次成果指標	目標値					
	実績値					
2次成果指標	目標値					
	実績値					

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	平成18年度より、主催が西東京市文化・スポーツ財団から教育委員会になったため、事業を継続する中で市民等の意見を聴取する。
	26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	体育協会へ補助金または委託料を支払って運営している市が多い。当市は大会毎に委託。
	運営上の制約条件・外部要因等	平成18年度より、主催が西東京市文化・スポーツ財団から教育委員会になった

コード 12-2-3	事務事業名 各種大会選手派遣事業	所管部課 生涯学習部スポーツ振興課
---------------	---------------------	----------------------

【事業所管部評価】

検証項目	選択基準	ランク	選択理由、特記事項等
1 目的の適切・切さ 目標	目的の妥当性 4 上位施策と目的が合致しており、施策に対する貢献度は他の事業と同程度である	▼	平成18年度より、主催が西東京市文化・スポーツ財団から教育委員会になったため、事業を継続する中で評価等を行う。
	目標の妥当性 2 目標を定量的に設定できないが、定性的には設定している	▼	
	緊急性 4 今後しばらくの間、少しずつでも継続して実施する必要がある	▼	
2 市が関与する必要性	法的義務性 1 法律・条例・要綱・要領等で実施が規定されていない	▼	平成18年度より、主催が西東京市文化・スポーツ財団から教育委員会になったため、事業を継続する中で評価等を行う。
	必要性 2 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	▼	
	民間との役割分担 1 民間団体が同種のサービスを十分提供し、質または量が上回っている	▼	
3 内容の適切さ	ニーズ 2 市民(市内)ニーズが推測でき、推測に見合ったサービスであることを説明できる	▼	平成18年度より、主催が西東京市文化・スポーツ財団から教育委員会になったため、事業を継続する中で評価等を行う。
	規模・方法の妥当性 1 事業規模や方法は過去を踏襲しており、特に見直していない	▼	
	公平性 4 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民または団体である	▼	
4 実施手段の適切さ	有効性 1 質・水準の改善にはあまり取り組んでいない	▼	平成18年度より、主催が西東京市文化・スポーツ財団から教育委員会になったため、事業を継続する中で評価等を行う。
	効率性 1 具体的な計画や目標等に基づいたコスト低減には特に取り組んでいない	▼	
	独自性 5 国・都及び市内には同種の目的を有する他の事務事業はない	▼	
合計			28

	評価結果	判断理由、説明等
総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	平成18年度より、主催が西東京市文化・スポーツ財団から教育委員会になったため、事業を継続する中で評価等を行う。

18年度における改善点	
-------------	--

二次評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	18年度から市直営となった事業であり、当面大きな見直しは厳しいと認識するが、全面委託事業であるため、委託料の積算根拠、用途について明確化を確保していくことが重要である。
------	---	--

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	二次評価記載のとおり、当面は、委託料の積算根拠や用途、内容等を調査した上で、事業を実施されたい。
--------	---	--